



マルガレータ・ワルストロム国連事務総長特別代表(防災担当) 兼 国連国際防災戦略事務局長が、3月に行った富山県庁からの防災に関する説明により立山砂防に関心を示していただいたことから、この度、立山カルデラの大規模な崩壊地やそこで行っている砂防工事、文化財としても価値のある歴史的な砂防施設について視察されました。



「立山砂防の長年の経験や努力を学び、世界の災害リスクの軽減のため活かしたい。」



【白岩砂防堰堤】

【トロッコ乗車】



【立山カルデラ砂防博物館】



【水谷出張所】



【六九谷展望台】

マルガレータ・ワルストロム氏

1981年～1983年 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) フィールド・オフィサー。

1989年～2000年 国際赤十字社・赤新月社連盟にて勤務。対応・活動調整部長を務めた後、緊急援助・調整担当事務次長に就任。

2002年～2004年 国連アフガニスタン支援団 (UNAMA) 事務総長特別副代表。

2004年～2005年 国連人道問題担当事務次長補兼緊急援助副調整官。インド洋津波が発生した際は、人道支援に関する事務総長特別調整官としても活躍。

2008年11月 国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) のヘッドとして、国連事務総長特別代表(防災担当)に就任。